



平成30年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年10月12日

上場会社名 株式会社アークス 上場取引所 東・札
 コード番号 9948 URL <http://www.arcs-g.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 横山 清
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 古川 公一 TEL 011-530-1000
 管理部門・コーポレート部門管掌
 四半期報告書提出予定日 平成29年10月12日 配当支払開始予定日 平成29年11月6日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家、証券アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年2月期第2四半期の連結業績（平成29年3月1日～平成29年8月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年2月期第2四半期	258,728	0.3	6,999	△4.8	7,747	△3.7	5,048	△13.8
29年2月期第2四半期	258,005	2.5	7,350	6.1	8,042	5.1	5,858	35.1

(注) 包括利益 30年2月期第2四半期 5,081百万円 (△16.3%) 29年2月期第2四半期 6,072百万円 (35.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年2月期第2四半期	90.86	—
29年2月期第2四半期	105.41	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年2月期第2四半期	217,190	129,810	59.7
29年2月期	205,313	126,859	61.8

(参考) 自己資本 30年2月期第2四半期 129,735百万円 29年2月期 126,782百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年2月期	—	21.00	—	25.00	46.00
30年2月期	—	23.00	—	—	—
30年2月期(予想)	—	—	—	23.00	46.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成30年2月期の連結業績予想（平成29年3月1日～平成30年2月28日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	520,000	1.4	15,100	1.7	16,800	2.0	10,000	△4.7	179.92

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

詳細は、添付資料P. 9 「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年2月期2Q	56,650,468株	29年2月期	56,650,468株
② 期末自己株式数	30年2月期2Q	1,371,933株	29年2月期	1,071,502株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年2月期2Q	55,560,810株	29年2月期2Q	55,579,353株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3 「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算説明会資料の入手方法）

四半期決算説明会資料は平成29年10月16日（月）に当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する説明	2
(2) 連結財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(追加情報)	9
3. 補足情報	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(平成29年3月1日から平成29年8月31日)におけるわが国経済は、緩やかな景気回復基調が続いているものの、国内外の政治情勢の変動や地政学リスクの高まりなどを受け、先行き不透明な状況で推移いたしました。

当社グループの主力事業である食品小売業界におきましても、消費者の節約志向の継続による価格競争の激化に加え、人手不足の問題や、人件費の増加など、経営環境は引き続き厳しい状況で推移してまいりました。

このような状況の中、当社グループは「全員参加経営 システム統合を軸に 地域創成の中心核となり WINの6乗を推進する」を年頭方針として掲げ、様々な事業環境の変化に対応しながら、地域シェアの拡大と企業価値の向上に努めてまいりました。今期の最重要課題でありますシステム統合基盤構築プロジェクトにつきましては、業界標準たるシステムプラットフォームの構築に向け、グループ内外の知見を投入すると共に、社外関係者向けの説明会を実施するなど、来期の稼働準備を進めております。また、過去にとらわれない業務改革及び組織改革の断行を目指したトランスフォーメーション計画においては、具体的な施策である商流改革及び物流改革、後方業務の統一など、目に見える効果を生み出すべく、新たな業務体制構築に注力しております。その他、シナジー効果を追求する取り組みとして、アークス商品調達プロジェクトにおいては、お取引先様からご提案いただいた新たなグループ統一の棚割り提案の推進や、店舗運営情報共有会においては、商品ロスの削減による粗利益率向上に向けた情報共有などを行ってまいりました。

営業面におきましては、「道民家庭の日」の協賛企画の拡充及び顧客の生活防衛意識に対応した価格政策の継続などにより、既存店の客数は、ほぼ前年並みの水準を維持し、売上高、客単価は前年同期を上回りました。

グループ共通のポイントカードであるアークスRARAカードにつきましては、旧㈱ベルプラス(現㈱ベルジョイス)店舗へのカード導入が完了したことにより、アークスグループのほぼ全ての店舗へのカード展開が完了し、当第2四半期連結会計期間末の総会員数は、前年同期末に対し14万人増の285万人となりました。

店舗展開におきましては、新規出店として平成29年4月に「ダ*マルシェ沼田店」(運営会社㈱道北アークス)、平成29年7月には「ユニバース十和田西店」(運営会社㈱ユニバース)を開店いたしました。また、㈱ラルズが商品力・販売力の強化を目的として「スーパーチェーンシガ」の3店舗を「ラルズマート」へ業態変更した他、「フクハラ愛国店」(運営会社㈱福原)、「ビッグハウス アドマーニ」(運営会社㈱道南ラルズ)など、業態変更を含む11店舗の改装を実施いたしました。一方で、3店舗を閉鎖した結果、当第2四半期連結会計期間末における当社グループの総店舗数は337店舗となりました。

以上の取り組みにより、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高2,587億28百万円(対前年同期比0.3%増)と新店効果などにより増収を確保できましたが、人件費や租税公課を中心とした販管費が増加したことなどにより、営業利益69億99百万円(対前年同期比4.8%減)、経常利益77億47百万円(対前年同期比3.7%減)となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、前年同期は㈱ベルジョイスの繰延税金資産の回収可能性の見直しなどにより法人税等の負担が減少しましたが、当期は法人税等負担率が33.9%(対前年同期比8.6ポイント増)と平常化したことなどにより、50億48百万円(対前年同期比13.8%減)となりました。

(2) 連結財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比較して、118億77百万円増加し、2,171億90百万円となりました。この主な要因は、安定した売上高の確保等により現金及び預金が102億79百万円増加したことなどによるものです。

負債は、前連結会計年度末と比較して89億26百万円増加し、873億80百万円となりました。この主な要因は、買掛金が57億62百万円、長期借入金が19億56百万円増加したことなどによるものです。

また、純資産は、前連結会計年度末と比較して29億50百万円増加し、1,298億10百万円となりました。この主な要因は、利益剰余金が36億58百万円増加したことなどによるものです。

この結果、当第2四半期連結会計期間末の自己資本比率は、前連結会計年度末より2.1ポイント低下し59.7%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末と比較して102億29百万円増加し464億39百万円(対前年同期末比では56億61百万円の増加)となりました。当第2四半期連結累計期間における連結キャッシュ・フローの各々の状況とそれらの主な要因は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益76億42百万円、減価償却費30億63百万円、仕入債務の増加額57億62百万円、及び法人税等の支払額18億24百万円などにより、166億10百万円の収入(対前年同期比では13億56百万円の収入の増加)となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、新規出店や店舗改装等に伴う有形固定資産の取得による支出40億83百万円、及び無形固定資産の純増加額22億68百万円などにより、57億89百万円の支出(対前年同期比では29億6百万円の支出の増加)となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金及び長期借入金の純増加額20億24百万円、配当金の支払額13億59百万円、及び自己株式の取得による支出7億37百万円などにより、5億91百万円の支出(対前年同期比では30億25百万円の支出の減少)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年4月11日に公表いたしました当社連結業績予想から修正は行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	36,255	46,535
売掛金	2,836	3,434
たな卸資産	13,996	14,205
未収入金	4,429	2,835
繰延税金資産	1,147	1,147
その他	2,332	2,056
貸倒引当金	△25	△48
流動資産合計	60,973	70,166
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	41,208	41,935
土地	67,909	67,670
リース資産(純額)	6,448	6,074
その他(純額)	4,345	5,208
有形固定資産合計	119,912	120,889
無形固定資産		
のれん	290	221
ソフトウェア	442	471
その他	1,848	3,969
無形固定資産合計	2,581	4,661
投資その他の資産		
投資有価証券	3,781	3,613
敷金及び保証金	12,273	12,114
繰延税金資産	4,381	4,359
その他	1,670	1,615
貸倒引当金	△260	△229
投資その他の資産合計	21,846	21,473
固定資産合計	144,340	147,024
資産合計	205,313	217,190

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成29年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年8月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	26,706	32,469
短期借入金	3,976	4,044
リース債務	1,330	1,307
未払金	5,742	6,555
未払費用	2,528	2,781
未払法人税等	2,426	2,998
未払消費税等	1,356	942
賞与引当金	2,193	2,641
ポイント引当金	2,976	3,276
その他	1,627	1,579
流動負債合計	50,865	58,597
固定負債		
長期借入金	6,106	8,063
リース債務	6,325	5,923
退職給付に係る負債	5,596	5,315
役員退職慰労引当金	1,113	1,118
長期預り保証金	5,110	4,982
資産除去債務	3,056	3,117
その他	279	263
固定負債合計	27,588	28,782
負債合計	78,453	87,380
純資産の部		
株主資本		
資本金	20,000	20,000
資本剰余金	23,602	23,602
利益剰余金	86,355	90,014
自己株式	△2,258	△2,995
株主資本合計	127,700	130,621
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	496	388
退職給付に係る調整累計額	△1,414	△1,274
その他の包括利益累計額合計	△917	△886
非支配株主持分	76	74
純資産合計	126,859	129,810
負債純資産合計	205,313	217,190

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年3月1日 至平成28年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年8月31日)
売上高	258,005	258,728
売上原価	195,425	195,535
売上総利益	62,579	63,192
販売費及び一般管理費		
宣伝装飾費	2,601	2,502
店舗賃借料	3,674	3,527
ポイント引当金繰入額	3,102	3,131
給料及び手当	21,430	21,796
賞与引当金繰入額	2,783	2,850
退職給付費用	754	631
水道光熱費	4,142	4,183
租税公課	1,173	1,348
減価償却費	3,060	3,063
その他	12,504	13,158
販売費及び一般管理費合計	55,228	56,193
営業利益	7,350	6,999
営業外収益		
受取利息	36	32
受取配当金	45	44
業務受託料	266	272
その他	492	514
営業外収益合計	842	864
営業外費用		
支払利息	98	85
その他	52	31
営業外費用合計	150	117
経常利益	8,042	7,747
特別利益		
固定資産売却益	0	100
その他	13	14
特別利益合計	13	114
特別損失		
固定資産除売却損	12	76
店舗閉鎖損失	16	1
事業譲渡損	36	—
減損損失	15	102
その他	131	38
特別損失合計	212	219
税金等調整前四半期純利益	7,843	7,642
法人税等	1,982	2,592
四半期純利益	5,861	5,050
非支配株主に帰属する四半期純利益	2	1
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,858	5,048

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年3月1日 至 平成28年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年3月1日 至 平成29年8月31日)
四半期純利益	5,861	5,050
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	34	△108
退職給付に係る調整額	177	139
持分法適用会社に対する持分相当額	—	△0
その他の包括利益合計	211	31
四半期包括利益	6,072	5,081
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,070	5,079
非支配株主に係る四半期包括利益	2	1

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年3月1日 至平成28年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	7,843	7,642
減価償却費	3,060	3,063
減損損失	15	102
受取利息及び受取配当金	△82	△77
支払利息	98	85
賞与引当金の増減額(△は減少)	326	448
ポイント引当金の増減額(△は減少)	561	300
売上債権の増減額(△は増加)	△643	△597
たな卸資産の増減額(△は増加)	196	△209
仕入債務の増減額(△は減少)	4,720	5,762
未払消費税等の増減額(△は減少)	55	△414
その他	2,265	2,337
小計	18,418	18,443
利息及び配当金の受取額	84	72
利息の支払額	△89	△80
法人税等の支払額	△3,160	△1,824
営業活動によるキャッシュ・フロー	15,254	16,610
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△3,725	△4,083
有形固定資産の売却による収入	238	350
無形固定資産の純増減額(△は増加)	△88	△2,268
差入保証金の差入による支出	△43	△26
差入保証金の回収による収入	422	501
預り保証金の返還による支出	△188	△106
預り保証金の受入による収入	36	45
定期預金の預入による支出	△508	△50
定期預金の払戻による収入	917	—
その他	56	△152
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,883	△5,789
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△1,180	△300
長期借入れによる収入	400	3,000
長期借入金の返済による支出	△915	△675
自己株式の取得による支出	△0	△737
配当金の支払額	△1,166	△1,359
その他	△754	△519
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,616	△591
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	8,753	10,229
現金及び現金同等物の期首残高	32,023	36,209
現金及び現金同等物の四半期末残高	40,777	46,439

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は法人税等を含めて表示しております。

(追加情報)

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 補足情報

販売実績

当第2四半期連結累計期間

セグメントの名称		前第2四半期連結累計期間 (自平成28年3月1日 至平成28年8月31日)		当第2四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年8月31日)		前年同期比 (%)
		金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	
小売事業	食品	214,596	83.2	215,607	83.3	100.5
	衣料品	814	0.3	846	0.3	103.9
	住居関連	12,224	4.7	12,035	4.7	98.5
	テナント	7,042	2.7	6,815	2.6	96.8
	酒類等	19,456	7.6	20,189	7.8	103.8
	D P E	88	0.0	75	0.0	84.8
	医薬品	568	0.2	—	—	0.0
	不動産賃貸収入等	2,619	1.0	2,660	1.0	101.6
	計	257,409	99.7	258,230	99.8	100.3
その他	観光事業	137	0.1	41	0.0	29.8
	その他の事業	458	0.2	456	0.2	99.6
	計	595	0.3	497	0.2	83.5
合計		258,005	100.0	258,728	100.0	100.3

(注) 上記金額には、消費税等は含まれておりません。